

年中長児

*

子「ねえママ、〇ちゃんはたからもの？じいじが〇ちゃんはたからものっていつたよ。たからもの4こもあるって。」

母「そうだね。こどもはみんなたからものだからうちはたからもの4こもあるね。」

子「じゃあもうすぐ〇ちゃんじいじのうちにいくから、じいじはたからものまだかな、もうすぐくるかなって、たのしみにまってるね！！」

*カブトムシ

子「カブトムシのおうちつくろうよお」

父「まだあさはやすぎるからもうすこししたらね」

子「じゃあなんじからやる？」

父「7じくらいからかなあ」

子「えー、はやくつくってあげようよ」

父「カブトムシもあさはやいからまだねむいって だからもうすこしあとにしよ」

子「はあい」

(おうちづくり)

子「おうちつくったのにつちのなかにはいっちゃたね いつでてくるのかな？みて、つだけでてるよ」

*はち

窓を開けて

子「あー。はちのにおいがするー。」

母「えーはちのにおいってどんなにおい？」

子「はちみつだよー。ペロッ(空気をなめて)あまいー。ママもなめてみてー。」

*カマキリがセミをつかまえたところを見た日の夜、寝る前に

子「カマキリがあんなにつよくむしをつかまえるとはね！」

母「すごかったね！」

子「かみさまがああいうふうにつくったんだよね でも、ぼくがセミをたすけたから カマキリ、ばんざいしておこってたよ」

*

子「もしよかったら、ひこうきのうんてんやる？」

父「うん。いいよ。ジェット旅客機かな？」

子「いや、ちがうよ。YS11だよ！」

*

母「Sちゃんが捕まえたカブトムシのお世話してくれる？」

子「もうお世話してるよ」

母「でも、エサのゼリーがからっぽで新しいのになってないよ」

子「お世話するって、ちゃんとみてあげるってことでしょ？Sちゃん、さっきからずーっとみてるよ」

*

おとうさんの仕事は床屋さんです。Yちゃんはお客さまとおはなしをしています。

子「Yはね、じてんしゃがすきなよ。」

お客さん「じょうずにのれるといいね。」

父「補助輪もひとつになったし、もうすぐのれるようになるね。」

子「はやくのれるようになりたいな。」

お客さん「がんばれ！」

子「はい！！がんばるよ。」

いい返事、いい笑顔でした。

*バーベキュー中炭火で焼いたお肉を食べながら、

子「んーおいしい！！ おいしすぎてほっぺたがいたいー」

母「いたいじゃなくてほっぺたがおちるでしょ？」

子「ちがうよ、ほっぺが、おいしくていたいんだよー」

*

子「おかあさん！しゅんかんいどうができたらどうする？」

母「え！？そうだねー、すごく遠い所でもすぐ行けちゃうね。どこか外国でもいこうかなあ。Rちゃんは？どこい…」

子「ばあば！！ばあばのところにいく！」

母（あ…そうだった。ばあばロス中だった）

*

子「きいてください！！うたいます！！しょうねんくらいのこども」～

Aのおなかが「ぐー」となった

子「あ！！おなかがすいたこえがきこえ！！」

*祖父母宅に泊まる時は、いつもリュックに自分で好きなモノをつめて持っていきます。今回も、たくさんのおもちゃや絵本をつめているAちゃん…

母「そろそろ準備できた？」(早く出発したい母)

子「おかあさん、きょう…すっごいカバンしかくいんだよなあ〜」

と、すごく不思議そうにリュックをみつめる娘。厚めの本を何冊もリュックに入れていたのでした。「しかくいカバン」を背負ってでかけたAちゃんでした。

*かわ

「ママみて〜!!かわがキラキラしてる たいようかなあ?たいようがわれてバラバラになってはいつているのかなあ?きもちよさそうだね」

*おまつりへむかうとちゅう、せみのこえがいつぱいきこえてきて、

“みーんみーん”

「みんなみんぜみだ」

“しゃーしゃーしゃー”

「くまぜみ」

“じりじりじりじり”

「ひげそり」

*かみなり

子「ぼくあかちゃんのころかみなりがこわくて オモチャのおしいれのところでおもらししちゃったんだよね」

妹「かみなりこわいよー」

子「かみなりさんはね、くらーいせかいにいるんだよ。おいしいごはんもたべられないんだよ。こっちのせかいのがいいよ!Yちゃんのがずっといいよ!かみなりさんこわくなったら、かみなりなんてこわくない!!っていえばいいんだよ。」

*

子「としょかんいきたい」

父「またいくだ?」

子「かりたいほんがたくさんあるから」

父「ほんすき?」

子「うん。ほんはいろいろ知らないことをおしえてくれるから」

*

「ぼうし シャツ スボン くつ ぜんぶ、あかいろだ ぼく、きょう、とうがらしだね」

*

母「きょうは、あめがつよくふってるよね。」

子「あめはね。かみさまのなみだなんだよ。」

母「そうなんだね。うれしくないているのかな？」

子「うん、うれしいときなんだよ。」

*母とHが、祖母の話をしていたときのこと

母「豊科のおばあちゃんはね、お父さんのお母さんなんだよ。」

子「えっ、そうなの？（少し考え込んで）…とよしなのおばあちゃんは、わたしのちちのははってこと？」

母「うん、そうだよ。合ってるよ。 庄内のおばあちゃんは、お母さんのお母さんなんだよ。」

子「それじゃあ、わたしのははのははってこと？」

母「そうだよ。」

子「そっかあ〜。ふたりのおばあちゃんは、ちちのははと、ははのははだったのね！！」

*かわいくてかわいくて

弟のことを抱きしめながら…

子「あ〜！！かわいい！！も〜、かわいくてかわいくてギュ〜ッてしてトマトジュースにしたいくらいかわいい！！」

母「どうしてトマトジュース？トマトジュース苦手でしょ？」

子「にがてなものもすきになっちゃうくらいかわいいってこと！！」

*—水族館でイルカのぬいぐるみを買ってから—

母「イルカのぬいぐるみ、よかったね」

子「サメだよ」

母「それは、イルカだよ」

子「サメ」

母「…イルカ」

子「じゃサメールカ」

*

子「わたし、にんぎょひめになりたい！」

母「どうして？」

子「だってさ、にんぎょはあるかなくていいんだよ。にんげんはえんそくのさかみちとかたいへんだしつかれるもん。あと、およいでいろんなくににいてみたいなあ。」

*夜、寢室で隣に寝転んで寝落ちしそうな母に向かって…

トンッと叩いてから

子「がんばって。まだやることあるんでしょ？はやくやればあとではやくねれるからね。」

母「ありがとう。でも、お母さん眠いなあ…」

子「そしたらUのパワーをあげるよ。」

母「どうやって？」

子「せなかをくっつけるの。」

背中をくっつけて

子「パワーおくれたよ！」

母「じゃあ、Uはどうなるの？」

子「たいりょくなくなっただけですぐねれるの。」

母「そりゃいいね！お母さん頑張ってくるね。」

2人「おやすみ～」

*

子「さいしょはね おいのりのときなんていうかわからなかったの だからね きこえないようにすこしだけちいさいこえでおいのりしてたんだ」

母「誰に聞こえないように？」

子「おともだちとかみさま」

母「聞かれたらどうして困るの？」

子「だってまちがったらはずかしいし まちがったおいのりをしたらきいたかみさまがまちがったことをしちゃうでしょう？」

母「たしかに。それは大変だ」

子「でも もう おぼえたからね みんなとおなじくらいおおきいこえでおいのりできるよ」

*ロボット掃除機がおもちゃの近くにいかうとして

「だめ！すいこんじゃだめ！」

掃除機がよける

「なんですすいこまないの？あぁきっとすごいめがついているんだね！」

*にし

子「にじってたべられるんだよ。」

母「そうなの？どんなあじ？」

子「くうきのあじだよ。」

兄「ぐみみたいにあまいあじがすればいいのにな。」

子「いろんなフルーツのあじだったらいいね。」

*

子「ママ、ぼくとパパとどっちとけっこんする？」

母「どっちにしようかな？えらべないなあ…」

子「ぼくとけっこんしたら、セキュリティハウスをたててあげるよ！おおきなベッドやプールもあるし、ママのだいすきなシャンパンものみほうだだよ。マッサージもあるよ！！よるは、おばけやゾンビがでるけどね。」

*おおきくなあれ

雨が降り始めた夕方のお迎え。園庭の花壇まで来たら

子「あめさん、ありがとう」

母(?)「…どういたしまして…」

子「ちがう！！ かが(母)じゃなくて、あめにいったの！はつかだいこんさんがおみずうれしいでしょ」

*

子「おかあさん、ハートうけとって(手でハートをつくってなげる) うけとったら、ここにしまっ そうしたらところがハートでいっぱいになるでしょ」

母「じゃあおかあさんもハートあげるよ」

子「でもねえ、Rちゃんのところはなくならないくらいハートがいっぱいなんだよ」

*

父「Kちゃんしりとりしよー」

子「いいよー」
父「じゃあ食べ物しりとりね」
子「たべものってなあに!？」
父「好きな食べ物言ってみて」
子「かつどん」

*大きくなったら

「S、うちゅうときょうりゅうとトミカがすきなんだ ずっとずっとすきだとおもう Sがおおきくなったらひとつは(おもちゃ)Mちゃんにあげてもいいかな」

*2歳の誕生日の写真をみて

子「こがたYだね。11がつになったらぼく5さいになるの？」
母「そうだよ、4さいから5さいになるよ。」
子「11がつになったら5さいのYがやってくるの？」
母「そうか、5さいのYがやってくるのか!どうやってくるんだろう？」
子「やあ!ってくる!!」

*あさがお

兄といっしょにあさがおのかんさつをしていて
母「あさがおってなんであさしかさかないんだろうね？」
子「ハチがすいにくるからとじるんだよ」
すこしてんきのわるいべつのひ
母「きょうはずっとさいてるよ」
子「あさがおがあめのみずをつけているから ハチはあめのみずによわいんだよ だからひらいていてもだいじょうぶ」

*あめ

子「このあめいつまでつづくのかな？」
母「あしたまでかな。」
子「ひどいね」
母「なんで？」
子「だってにんげんにはひつようないでしょう？」
母「そんなことないよ。あめがふらないとみずもないし、やさいもおおきくならないよ。」
子「そうだね。おやさいののみみずみたいなものだもんね。」

*ランドセル

待ちに待ったランドセルをだいすきなおばあちゃんと買いに行った時
子「わたしはずっとむらさきいろがいいなあっとおもっていたからぜったいに
むらさきにするからね」
でも、いざ実物を見に行くと…
子「いっぱいあったけど、なんかわたしはこのみずいろがいいな」
母「え、どうして急に水色になったの？」
子「だって、おそらのいろみたいでかわいしい、わたしにはこのいろがにあいそ
うだから なかののおうち(祖母のこと)にかってもらったランドセルちゃ
んとだいじにするからね」

*リフトに乗って、お花畑を見ながら

「ねえママ、わたしのなみだがこのおはなにおちればきっとおはなはげんきに
なるよ わたしのなみだでかれないおはなになるよ」

*おへそ

「おへそのごまとっちゃった。おなかいたくなっちゃうかな。へそのごまって、
たべるごまみたいにたべれるの？」

*

「きょうはまんげつによる ままおまたせ あ、くもがおおいね でもすごい
あかるいね じゃあみてみようか わあすごいよまま うさぎさんはつきりみ
える こっちみてるねえ なにたべるんだろう ままみてる？ わあくもが
おおきい しろながすくじらがつきをたべちゃうよ」

*星をみながら

「あっ！！カブくんだ！！(飼っていたカブトムシ) しんじゃったけどみんなお
ほしさまになるんだよね おそらからみててくれているから、さみしくないね
カブくんバイバーイ カブくんまたねー」

*

「うごかないセミだね。ぜんぜんうごかないね…。ぬけがらかな…。」
チチチチ… (とびさっていくおと)
「さわらないでよかった。(セミがおどろくので)」

*けむり

母「Rちゃん、みて！！あのえんとつからけむりがでてるよ！」

子「ほんとだ！！…（すこしかんがえて）ねえママ。もしかしてきょうあのおうちでたんじょうびばーていなんじゃない!?けーきとかからあげとかしちゅうとかたくさんごちそうをつくっているんだよ！！いいなあ。Rちゃんのおたんじょうびもはやくこないかなあー…。」

* 雷が鳴った日のこと

父「あれはどこかで雷落ちたね。」

子「かみなりっておちるの？」

父「そうだよ。」

子「おちたらだれがうえにあげるの？」

*かなりの雨が降っていた日に雨が道路をいきおいよく流れている様子を見て
「あれ、あめがみんなでおひっこしをしているよ。あめさんたちどこに行くのかなあ。あめさんおひっこしするのたいへんだねえ。」

*

子「おかあさんとCちゃんのおたんじょうびのときにいったおみせのひとはおなかすいてないかな？」

母「どうして？」

子「ずっとしんぱいだったんだよ。ごはんたべられたかなって。Cちゃんがたべにいったときとかおきゃくさんいるでしょ？だからたべられないのかなって」

母「大丈夫、お客さんが少ない時にかわりばんこで食べてると思うよ。」

子「そうなの？（ホッとした顔）」

*金魚

子「きんぎょちゃん、しんじゃったね。てんごくでおじいちゃんにかわいがってもらえるよね。」

弟「うん。そして、おそらはおおきいからいっぱいおよげるね。」

*

母「Sのほっぺはすべすべだね～」

子「もともとおもちだったからね」

母「そうなの？」

子「おしりはももで、おなかはおだんごなの おはなはビスケット！！」

*おっばい

子「おっばいすうのってすてきだね。Tちゃん、さいきんすってないでしょ。だからあじわすれちゃった。すってもいい？」

母「4さいにもどっちゃうんじゃない？」

子「えっ……4さいにもどるまほうなんてないよ！でもTちゃん5さいだからがまんする。おっばいぷにぷにーぷにぷにー（とうたいだす）」

～その数日後～

子「きょうはおとうさんとねるね！ひろいけど、おかあさんひとりでねてね！おやすみなさ～い」

（この日から、母の寝室に来なくなりました）

*

子「しゃぼんだまのくるまがあったらいいのにな。しゃぼんだまにはんどるとかみらーとか、くるまのやつがぜんぶついてて、そらのおさんぽができるの！そしてくもを食べる！」

母「くもはどんなあじがするのかな？」

子「あまいあじ！わたあめみたいにふわふわだから！」

母「おいしそうだね」

子「それか、くるまにおかしをいっばいつめこんでもっていってもいいかもね！だめかな？おかしを食べながらそらをながめたいなあ。」

* かみなりさん くもさん

雷が鳴り雨が降って来た

「かみなりさんだ！かみなりさんがあめさんよんできたよ」

パジャマのズボンをお腹の上までしっかりと上げている。

「かみなりさんは（お家の）かぎのあけかたしってるの？かみなりさんがきちょうからしーだよ。かみなりぴかぴかなんでかなーかみなりさん、かみなりさんいるけれどーぼくたちぼくたちなぁにかなーかみなりさんでできてーかみなりさんでできてー」

窓の外を見ながら歌を歌っている

* 町会の青山様・ぼんぼんの帰り道…三日月をみて…

子「おつきさまたべられちゃった」

母「何に食べられちゃったの？」

子「くもがたべちゃったんだよ」

*

子「きょうはおでかけしたくない」

母「なんで？」

子「きょうまんげつじゃない？」

母「まだ満月じゃないよ」

子「だって、まんげつみたら、おおかみおとこになっちゃうよ」

母「大丈夫だよ。ママも満月見ても狼男にならなかったよ」

子「ママはおとこのこじゃないからだよ」

母「Aが赤ちゃんの時も、満月見ても狼になってなかったよ」

A「…あかちゃんにならないのかも まんげつみないようにかくれてくるまの
る！」

*

子「みみずはどこにすんでいるの？」

父「つちのなかだよ。でも、あめがいっぱいふるとくるしくてでてくるの」

子「ふーん、なまえにみみず みずがついているのに、どうしてあめがにがてな
のかな？…そっかあだれにでもにがてなことがあるんだね Aくんにもに
がてなこと、あるもんねえ…」

*ブルーベリー狩り

母「ブルーベリーの季節だね。ブルーベリー狩りに行きたいね。」

子「えっ！？ブルーベリーがりってブルーベリー、ガリってかじるの？」

* つき

よる、くるまにのっていると

子「ママ！みて。つきがずっとRをおいかけてくる！」

母「ほんとだね。速いね。」

子「でんしゃよりは早いよ。」

母「なんでおいかけてくるのかな？Rのこと、だいすきなのかな？」

子「ちがうよ。ママのことねらってるんだよ。」

母「えっそうなの！？ちょっとこわいなあ…。」

*

子「えーなんでしーとをpegでとめちゃったの。」

母「かぜでとばないようにだよ。」

子「かぜでしーとがとんでふわふわ、そらのうえでおひるたべたかったなあ。」

*くものす

子「ママ、みて、おおきなくものすだよ。」

母「本当だ。くものすだ。」

子「くものすはおうちなんだよね。」

母「さて、なんのおうちでしょう。」

子「知っているよ、くものすのおうちだよ。」

*

子「みてみて みずたまりにあまえんぼうがいるよ」

母「え？あ、あめんぼね」

*鯉がいる池へ行って

父「こいがいるから、エサを買ってあげる？」

子「うん！」

池の周りをまわりながらエサをあげていると、こいがどんどんあつまって

母「すごい数のこいが来ちゃったね…」

子「まだたべてないこ、てをあげてー。Rちゃんがみんなにあげるよー。」

*お友だちのことを父に話すとき

「Hはおともだちいっぱいいるよ いちにちではいけないくらい！」

*

母「たくさんあせかいたね！」

子「うん。だってぼくがあそんでるとおひさまがずっとこっちをみてるんだもん！あつかった〜」

*

子「あれたべたい！レモンみたいなすっぱさでにゆるにゆるしてる…あれだよ、あれ！！もくずみたいなのまえの…」

母「もずくね！」

*

おじさんのやきゅうのしあいをかんせん中。せきにはったテントがかぜでとばされないようにみんながてでおさえていました。こちらのチームはホームラン

をうちました。みんなは、おもわず、おおきなはくしゅしました。そのときかぜがふいてきてテントと一緒にとびあがった。Hは「ママテントももりあがったよ」うれしくて話した。

*

子「ねえ、みて！はしがはんにんにつかまってるよ！！」

母「しらたきが、からまっちゃったんだね。」

*

子「ねえ。うちはうまれかわってもアホかなあ。」

母「アホがいいの？他にもいい所あるよ。優しいし。」

姉「そうだよ」

子「うちは、アホなうちがすきなんだもん。アホじゃなくなったらどうしよう。」

「アホ」を否定的に捉えたのは、私の思い込みで、どんな自分も好きだと言えるのは、ステキなことだと気付いたやりとりでした。

*

かきごおりのいちごあじをたべて

「したがまっかだ！！えのぐをたべたみたい。」

いもうとのMちゃんがめろんあじをたべて

「Mちゃんはみどりのえのぐをたべたみたい。」

*

「きょう〇〇ちゃんとおそんだよ！むしをみつけた！てつぼうたくさんできた！きゅうしょく〇〇くん〇〇ちゃんとべた！ぜんぶたべれた！〇〇せんせいにおしえてもらった！」

毎日、元気いっぱいママやパパに話してくれます！楽しかった事や嬉しかった事 悔しかった事 悲しかった事 沢山経験していくんだ！！大きくなーれ

*ゆめ

「ゆめみたけどおぼえてない サンタさんがぬすんだかもしれない」

*咲いているヒマワリを見て

「わたしはね、おそらのうえて「バラ」っていうなまえだったの。「タネちゃん」っていうあかちゃんもいたんだよ。「ヒマワリちゃん」っていうおともだちもいたの。だからヒマワリのことわたしはずーっとまえからしってたよ！」

*

「Sおとなになってきたでしょ あとすこしでねんちょうさんだし そしたら
おにいさんおねえさんになって おかあさんになっておとうさんになるんでし
よ？」

*外で遊んでいた時の一コマ

子「こんにちは～」

隣のおばさん「大きな声で挨拶できて、いいこだね～」

その後、しばらく経ってから

子「パパ、いつもTちゃんわるいこなのに、いいこなだって！」

父「なんでわるいこななの？」

子「Tちゃん、いつもパパにおこられてるからわるいこなだもん。いたずらす
るから。」

父「“いいこ” になりたい？」

子「なりたい！ Tちゃんいいこになるようにごはんの手てつだいするよ。」

*

母「Nちゃん、ママつかれちゃった」

子「…なにがほしい？」

母「なにくれるの？」

子「んー…やさしいきもち！！」

母「どこにあるの？」

自分の心に手を当てて

子「ここー。はいどうぞ！！ママのここ(心)にはいったよ みえないけどね あ
るんだよ すぐいっばいつくれるからね だいじょうぶだよ」

*お鍋でぐつぐつ煮ている野菜を見て

「みーんな、あたたかいきもちになったんだね」

*ふとんのなかで…

子「おかあさん、きょうSのゆめにくる？」

母「いきたいなあ～」

子「Sのゆめ、すごくとおいけどあるいてこれる？」

*

「おしっこもれそうではっぺとれそう！！」

*おやつが大好きなI。幼稚園からの帰り

子「セブンいこう！」

母「なんでー？」

子「おやつかうの！！」

母「おやつはお家にまだたくさんあるよー」

子「あしたのぶんをかうんだよ！だからおーねーがーいー！！」

*

子「なんでママはそんなにAのことすきななの？」

母「ママのこどもだから」

子「そっか。じゃあいっぱいすきってことね」

*

「Kたくさんたべておおきくなる Kのおなかおおきくなったら あかちゃん
うまれちゃう」

*テレビを見ていて

姉「ママうわきしたことある？」

子「あるよ！！ママわきあるよ！！」

*

子「バラのチクチク（とげ）はなぜあるのでしょうか ①きられない②みずをすう
③そこからはながさく どれでしょう」

父「う～～ん①かな？」

子「せいかい！！」

父「つぎはパパがもんだいだすね パパのチクチク（すね毛）はなぜあるでしょ
う ①あしをきられない②みずをすう③そこからはながさく どれでしょ
う？」

子「②！！」

*

子「ママ、きょうはあついね」

母「そうだね」

子「ふゆはたいようが1こでなつはたいようが100こあるのかもね」

*近所の広場にて、四つ葉のクローバーを探しているとき

母「よつばあった？」

子「ない…さつばしかない…」

母「え、なに？」

子「だからー、さつばしかないの」

母「はっばが3つのクローバーは“みつば”っていうんだよ」

子「3こだから“さつば”でしょ」

母「み・つ・ば」

子「えー、さつばだよ〜」

*私が買い物袋を両手に持っていた所、何も言わず買い物袋を持ってくれたので

母「重いから大丈夫だよ。ママ持つから貸して？」と言った所、

子「ううん、だいじょうぶ。」

母「本当に？ありがとう。」空いた手をにぎって来て、

子「ママとてをつなぎたかったからね。いくらでももつよ。」

(きっともうすぐ手をつなぐの恥ずかしい、と言われるんだろうな)

*弟がアリを踏みつけようとしているのを見て、

「だめだよ。このこはアリのおとうさんだから、あかちゃんがおうちでまってるよ。」

弟も踏むのをやめて、2人でじゃがみこみ、

「おとうさん、おしごとがんばってね！！ばいばい」

*

子「わたしね〜おおきくなったらおすしやさんになりたいんだ。」

そんなこと今まで一度もいってなかったのに…

母「どうしてお寿司屋さんになりたいの？」

子「みんなでいったおすしやさん なくなっちゃったから。」

みんなによろこんでほしいんだね。ありがとう。

*

母「目の下にくまできてるから早く寝よ。」

子「くま？なんびきいるの？」

母「右と左に1匹ずつ。」

子「じゃあ、10匹きになったらねる。おさんぽいってくるね。」

部屋のなかをグルグルまわる…

子「なんびきになった？」

母「10匹になったよ。」

子「じゃあねるか。おやすみ。」

*ふしぎ

「どうしてくもはやまのほうにいきたがるのかなーじしゃくなのかなーやま」

*寝ている親の布団のいろいろなところを押して

「ここはさんじゅっポイント。ここはいちポイント。ここはいっせんまんポイント！！」

*外を散歩中

子「あっくものす！」

母「ほんとだ。くものすあるね。」

子「いち、にい、さん…さんにんいるよ きっとくものおかあさんとおとうさんとこどもだね。」

*ある日の朝食時

子「ママー。りんごのうさぎたべたい。」

母「はい。どーぞ。」

うまくできなかつたりんごのうさぎをさしだす。その日の夕食時、

子「りんごのうさぎたべたい。」

父親がりんごのうさぎを作ってあげると、

子「ママのくわがたりんごもおいしかったよ。」

母「…。」

年少児

*寝ようとする

「おふとんかけようか？めざましかけたよ ゆっくりねてね」
思いやりのある子に育ってます。

*おいしゃさんごっこ

子「はい きてくださーい ちっくんしますからねー」

母「ひゃあ〜」

子「おくすりもあげますからねー」

母「ありがとうございます このおくすりのむとどうなりますか？」

子「ちょっとあったかくなりますよ」

*買い物で買ってきた野菜を見て

子「たまねぎたべる」

父「食べてくれるの？」

子「うん、たまねぎたべてあげる」

*

母「おなまえはなんですか？」

子「Hです」

母「なんさいですか？」

子「よんさいです」

母「どこからきましたか？」

子「ママのおなかです」

お家の場所を聞いたつもりが、何とも可愛い返答でした。

母「ママのおなかにくるまえはどこにいたの？」

子「かみさまのおうちだよー」

母「なにしておそんでいたの？」

子「うーん、なんだっけ〜。あっ、ちゅうりっぷぐみのおともだちみんないたんだよ！！」

きっと本当にそうかもしれないなと思いました。

*

「おかあちゃん、Hちゃんはおとうちゃんとけっこんしたいからおとうちゃんとはけっこんしないでね だってHちゃんおとうちゃんがだいすきになっちゃ

ったんだもん」

*くも（雲）

「くもってどこにながれていくの？おおきいおそらのなかをおさかなさんみたいにおよいでいるね。おおきなおおきなうみのなかにもたくさんのかもがいるのかな。」

*

「かたほうくつがぬげちゃった シンデレラみたいじゃん」

*

母「日が短くなってきたね」

子「たいようさんがはやくねちゃったんだよ」

*

「はやぶさとこまちはよくがったいしてるよねえ。すきなのかな。」

*

「ちっちゃいこってながくつすきだよね なんですきなんでしょう？とくべつなきもちがするのかな？A ちゃんはもうおとなだからふつうのくつのほうがすきだってブランコしてもぬげないもん」

*

M ちゃん耳をさわるのが好きです。私の耳たぶを気づくとさわっています。M は耳たぶばかりさわります。私も M ちゃんの耳たぶをさわってあげるけど、それは嫌らしいです。私の耳たぶがいいらしいです。

*ある日の空をみて

母「今日も暑い～」

子「ママーにじがある！！」

母「本当だね～」

子「おしろにもにじがある！！」

母「きれいだね～」

子「きとおしろもあかるいきもちになるね！！」

*自動販売機でジュースを購入した際

父「ぶどうじゅーす、おいしいね。だれがぶどうじゅーすを作ったの？」

子「かみさま！！」

父「かみさまなの？どこかにいた？」

子「かみさまはいろいろなところにいる いろいろなものをつくってるんだよ」

父「そうなんだ。例えば何を作ってるの？」

子「たいようとかいろいろ」

父「へえ、それじゃあぶどうじゅーすはだれにもらったの？」

子「かみさま！！」

*椅子に座って抱きしめていたら

子「いいけどダメだよ～たったらいいよ。すわったらダメだよ～」

父「なんで？」

子「だってあかちゃんみたいにたってだっこしてほしいもん。」

*天王星と蟻

子「ママのことウラヌスくらいすき」

母「ウラヌスまでのきよりってこと？」

子「うん」

母「Kは？」

子「Kはつきかな」

母「パパは？」

子「アリ」

*遊園地にて

「Aはコーヒーカップがいちばんすき だってめがまわるから」

*

子「ママ、まもってあげるからね。」

母「ありがとう。どうしてまもってくれるの？」

子「だってね、おんなのこだから。おんなのこは、うるとらまんにはならないでしょ？あろさうるすとかていらのさうるすをやっつけないといけないんだよ。おんなのこは、ちからがよわいからね、おとこのこがまもるんだよ。」

母「Iちゃんは？」

子「Iちゃんもあかちゃんだからぼくがまもるんだよ。おとなになったら、ぼくといっしょにたたかうんだ！せいぎのみかたはつよくてとってもやさしいんだ！」

*

子「くまさんはおさかなを食べるの。ぞうさんはりんごを食べるの。パンダさんは…
なにを食べるの？」

母「パンダさんは笹の葉っぱが好きだよ。」

子「そっかあ〜。パンダさんははっぱを食べるの。」

母「うさぎさんは？」

子「うさぎさんはにんじん！Rちゃんはね、コーンフレークを食べるのよ。」

*

子「Rちゃんこんどおにさんとおばけとあそぶよ」

母「おもしろそうだね。じゃあママが、夜うちにきてって言うておくね」

子「でも…Rちゃん、おばけとおにアレルギーなんだよね あたまとかでとかか
ゆくなっちゃうから…」

*おやすみ前に

子「ママとねる」

母「なんでこんな隙間に入り込んだの」

子「ママがすきだから」

母「ママもTちゃんだいすきよ」

子「ママってふわふわできもちいい」

*

母「夜、寝てるときにここにこしてたけど、何か夢見たの？」

子「うん、みたよ」

父「どんな夢？」

子「ほしがでてた」

母「お空に？」

子「うえに（上を見あげながら）」

母「何色だった？」

子「きいろだよ」

父「他には？」

子「ピンクのハートがひだりに、あかとオレンジのおひさまがうえにうたつ。こ
れはたのしいゆめだった！」

*

子「まーまーここ」

母「あらっ蚊に刺されたね かゆいね」
子「まーまーまたここ かににさされた」

*

子「むしとりにいきたい！」
父「よし、山の方に行こうか。」
子「あっカミキリムシだ。カゴにいれてよくみてみよう。」
子「カミキリさんありがとう。おうちにいきなりきてびっくりしたでしょ？またね、バイバイ。」
父「飛んでいっちゃったね。」
子「ごはんのじかんだからだよ。」

*長野に帰省中、リンゴ畑にて

子「ねえ、あそこになにかたべものになってるよ」
母「あれはりんごだよ」
子「じゃああしたとろっか」
母「まだ青いから赤くなったらとろうね」
子「あかくなあれ、あかくなあれ！！」

*なんでなんで

子「なんで、ぼくはちきゅうにいるの？なんで、うみはちきゅうにあるの？」
母「なんでうみはあるとおもう？」
子「なんでかというとかわになってるから。」
母「なんでAくんは、ちきゅうにいるとおもう？」
子「おかあさんとおとうさんとおねえさん。3にんだったら、こまるでしょ。ぼくがいなかったら。だからきたんだよ。」

*妹がお茶をのみたくて

妹「ちゃちゃー」
母「お茶がのみたいんだね。今、洗い物をしているから、手を洗うからまっててね。」
子「じゃあぼくがやっけてあげるからね。」
妹「んう（笑う）」
子「おにいちゃんだから、もうこんなこともできるんだ。おおきくなると、いろんなことができるようになるからね。だいじょうぶだよ（妹へむかって）はい、どうぞ。」

妹「あんと（ありがとう）」

*Mのまほう

家族でスノードームを作りました。中に、ケーキやリボン、エルサが好きなMは、紫色の石を入れて、仕上げました。出来たスノードームを振ると、ハートや星のラメが「ふわっ」とまい上がります。

「ほら、みて！！きれい。ハート、おほしさま、おとなっぼい、らめらめ、おおきなケーキにリボンをつけて、あと、ダイヤモンド。エルサのまほうがかかっている。Mも、エルサになる。Mがエルサになって、まほうをかけたら、このへやは、にじいろになって、きれいになるの。」

*しんじゃったきょうりゅうは

「おそらからおおきいほしがおちてきて ゼーンぶさむくなっちゃって きょうりゅうたちはしんじゃったんだ しんじゃったきょうりゅうは そのあとみんなでおんせんにはいったんだよ はいったら「やっぱりあつい〜！」ってなっただれかが「じゃあつめたいしゃわーでもあびますか！」って言って こんどはみんなのみずあそびするんだよ」

*大きくなったら…

「Mちゃんおおきくなったらまいにちおりょうりするね おさらもあらうね ママとパパおんぶしてあげるね Mちゃんねはやくママになりたいんだ」

*

子「ママー。なにかいてるの？」

母「こうとうしだよ。」

子「Yがてつだってあげる。いっしょにかく。」

てをそえていっしょにかいてくれる…

子「これけしこむ？こうやってけすの？これけしていい？」

けしけししてくれる。

子「いっしょにかく。」

…

子「じょうずにかけた？これでようちえんにわたしがもっていけるね。」

*公園で寝転がって空を見ていたら

子「H、くものゆめをみるよ」

母「どんなゆめ？」

子「おとうさんとおかあさんとHでくもにのってるゆめ」

母「それはたのしいゆめだね！」

*ものの数え方

子「ぬいぐるみはなんでひとりしかいないの？」

母「たくさんあるよ。ぬいぐるみはひとりってかぞえるの？」

子「はい。ワン (one) っていいま〜す。ワンでございま〜す。」

*

弟「(つ) き、(つ) き」

母「ほんとだ、きれいだね」

子「たまごみたいだね かめさんのこうらみたいだね」

*イヤイヤ期。かんしゃくを起して泣きながら、叫んでいました。

「いやなきもちがなくなればいいなあー！！！」

*うみ

かいすいよくのかえりにうみにむかって、

「ばいばーい！！またきてね〜。 うみも、ばいばーい！！またきてね〜って
ってる。」

*

子「あしたからMちゃんにあえないよ」

母「なんで？」

子「おしごとに行くからMちゃんにあえないよ」

母「どこに行くの？」

子「しんかんせんになります こうえんにあそびに行くから」

母「そっかあ」

子「おかあさんもいっしょに行くよ」

*

子「スポンジパンクたべたい」

母「え…スポンジ？スポンジボブかな？」

子「ちがうよ！〇〇くんちでたべたでしょ (泣)」

母「まさか、フルーツポンチか…」

いずれなくなってしまう、可愛い言い間違いやこだわりを大切にしようと思う。

*新盆

「ごせんぞさまはごはんたべるの？おみずもごはんももももどうぞ。おいしいよ。かがみのまさこばあば、しゃべらないね。しゃしんだからしゃべらないのかあ。これははっぴばーすでー？ふうっ。」

*うみのおすなば

子「カニはなんでうみのなかにいないのにうみのおすなばにいるの？うみでおよいでないよねー？なんでこうえんのおすなばにいないのかな？」

母「カニはうみがすきなんだね うみのおすなばでなにしているんだろうね？」

子「チョコチョコキしておすなとレタスをきってるんだよ」

*夜ごはんの前に

子「おかしたべてもいーい？」

母「いまおかし食べたら夜ごはん食べれるかな？」

子「がんばってたべる！じゃあナイショね！」

…じゃなくてヤクソクね！

*はなみず

—洗面台で、手を洗っていると突然—

子「ママ！！はなみずたれてる！！」

母「え！？（Hの鼻を見てもたれていない）」

子「みてみて！」

（指さす方には自動ハンドディスペンサーがあり、あわがたれさがっている）

母「ほんとだね！！かぜひいたのかなあ…」

*M ちゃんの早すぎる反抗期～娘の急なきもちの変化についていけないお父さん～

お弁当の日に、父親がお迎えに行くと、にこにこ笑顔のMが

子「ばばー！きょうおべんとうぜんぶたべた！！」

父「やったね！！トトといっしょにこんどはたべようね。」

子「あっちいって。おバカ！」

父「…。」